

注3

大学番号：私立291

[令和2年度設置]

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

西南学院大学 外国語学部 外国語学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人西南学院
令和2年5月1日現在

作成担当者

総合企画部 企画課

課長 シフタ アキノリ
洪田 昭典

電話番号 092-823-3718

(夜間) 092-841-1316

F A X 092-823-3227

e-mail pln@seinan-gu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

外国語学部

＜外国語学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況（一部省略）	12
6. 附帯事項等に対する履行状況等	35
7. その他全般的事項	36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人西南学院

(2) 大学名

西南学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒814-8511

福岡県福岡市早良区西新六丁目2番92号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ギャーリ バークレー) ギャーリ バークレー (令和2年4月)		
学長	(ギャーリ バークレー) ギャーリ バークレー (平成30年12月)		
学部長	(イトウ アキヒロ) 伊藤 彰浩 (令和2年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
外国語学部 外国語学科 学士（外国語学）	文学関係	4 年	300 人	- 年次 人	1200 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	300人 300 (-) [-]	- () () []	人 人 () () []	人 人 () () []	人 人 () () []	人 人 () () []	人 人 () () []	人 人 () () []	人 人 () () []	人 人 () () []	0.92倍	-	
志願者数	2586 (-) [2]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
受験者数	2564 (-) [2]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
合格者数	757 (-) [2]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
B 入学者数	276 (-) [2]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	0.92												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	276 [2] (-)	- [-] (-)									
2 年次	/										
3 年次	/		/								
4 年次	/		/		/						
計	276 [2] (-)										

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	276 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合計		0 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)

・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{276} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<外国語学部 外国語学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専攻科目	科 導 目 入	基礎演習	1前	2		12	4	1			
		導入演習	1後	2		18	7	1			
	ス キ ル 科 目	外国語コミュニケーションA(英語)	1前	4			3				兼13
		外国語コミュニケーションB(英語)	1前	4			2				兼13
		外国語コミュニケーションA(フランス語)	1前	4			6	1			兼4
		外国語コミュニケーションB(フランス語)	1後	4			5	1			兼4
		英語スピーキングスキル	1後	2			3				
		英語リーディングスキル	1後	2			3	3			
		英語リスニングスキル	1後	2			4	1			
		英語ライティングスキル	1後	2			2	4			
		ペーシッキングリッシュ	1前	2			1	1			
		英語スピーキングスキル&プレゼンテーション	2前	2			1	4			
		英語リーディングスキル&クリティカルシンキング	2前	2			4				
		英語リスニングスキル&クリティカルシンキング	2後	2			1	4			
		英語ライティングスキル&プレゼンテーション	2後	2			4				
		アドヴァンストイングリッシュA	2前	2			1				
		アドヴァンストイングリッシュB	2後	2			1				
		コミュニケーション英語Ⅰ(統合基礎)	2前	2			1	4			
		コミュニケーション英語Ⅱ(統合応用)	2後	2			1	4			
		アドヴァンストリーディング	3前	2			1	2			
	アドヴァンストライティング	3後	2			1	2				
	アドヴァンストスピーキング	3後	2			1	4				
	フランス語演習基礎(スピーキング)	1前	2			2				兼1	
	フランス語演習基礎(リーディング)	1前	2			1				兼1	
	フランス語演習基礎(リスニング)	1後	2			2				兼1	
	フランス語演習基礎(ライティング)	1後	2			1				兼1	
	専 門 基 礎 科 目	英語圏文学史A	2前	2			1	1			
		英語圏文学史B	2後	2			3				
		英語学概論A	2前	2			1	1			
		英語学概論B	2後	2			1	1			
		翻訳演習	2前	2			1				兼1
		翻訳研究	2後	2			2				
		コミュニケーション学入門	2前	2			1				
		クリティカルシンキング入門	2前	2			3				
		英語特別研究	2前	2			3				
		コミュニケーションフランス語基礎A	2前	2			2				
コミュニケーションフランス語基礎B	2前	2			2						
英仏対照言語学	2前	2			3						
世界文学概論	2前	2			3				1		
ヨーロッパ文化概論	2後	2			2				1		
専 門 展 開 科 目	英 語 研 究 科 目 群	英語圏文学A(ヨーロッパ)	2前	2		3	1	1			
		英語圏文学B(北アメリカ)	2前	2		3					
		英語圏文学C(アジア・オセアニア・アフリカ)	3前	2		2					兼1
		英語圏文化研究A(ヨーロッパ)	2後	2		3	1	1			
		英語圏文化研究B(北アメリカ)	2後	2		3					
		英語圏文化研究C(アジア・オセアニア・アフリカ)	3後	2		2					
		英語圏歴史研究	3後	2		3					
		言語文化論	3後	2		1	1				
		通訳研究I	2前	2							兼1
	通訳研究II	2後	2							兼1	
	英文法A	2前	2		2	1				兼1	
	英文法B	2後	2		2	1				兼1	
	英語音声学	2後	2							兼1	
	英語史	3前	2							兼1	
	英語学研究A	3前	2		1						
	英語学研究B	3後	2		1	1					
	異文化理解	3前	2		1						
	フ ラ ン ス 語 研 究 科 目 群	フランス語特別研究	2前	2			1				
フランス語文法		2前	2			1					
フランス語演習応用(スピーキング)		2後	2		1						
フランス語演習応用(リーディング)		2後	2		1						
フランス語演習応用(リスニング)		2後	2			1					
フランス語演習応用(ライティング)		2後	2		1						
フランス語史		2後	2		1						
フランス語音声学		3前	2				1				
コミュニケーションフランス語応用A		3前	4		1						
コミュニケーションフランス語応用B		3後	4		1						
フランス語圏文学研究A	3前	2		1							
フランス語圏文学研究B	3後	2		1							
フランス語学研究	3前	2			1						

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専攻科目	科 導 目 入	基礎演習	1前	2		15	4	1			
		導入演習	1後	2		12	2				
	ス キ ル 科 目	外国語コミュニケーションA(英語)	1前	4			4	4			兼9
		外国語コミュニケーションB(英語)	1前	4			7	2			兼4
		外国語コミュニケーションA(フランス語)	1前	4			6	1			兼7
		外国語コミュニケーションB(フランス語)	1後	4			4				兼9
		英語スピーキングスキル	1後	2			2	1			兼6
		英語リーディングスキル	1後	2			5	2			
		英語リスニングスキル	1後	2			5	2	1		
		英語ライティングスキル	1後	2			4	1			兼2
		ペーシッキングリッシュ	1前	2			1	1	1		
		英語スピーキングスキル&プレゼンテーション	2前	2			2	3			
		英語リーディングスキル&クリティカルシンキング	2前	2			4				
		英語リスニングスキル&クリティカルシンキング	2後	2			2	3			
		英語ライティングスキル&プレゼンテーション	2後	2			4				
		アドヴァンストイングリッシュA	2前	2			1				
		アドヴァンストイングリッシュB	2後	2			1				
		コミュニケーション英語Ⅰ(統合基礎)	2前	2			2	3			
		コミュニケーション英語Ⅱ(統合応用)	2後	2			2	3			
		アドヴァンストリーディング	3前	2			2	1			
	アドヴァンストライティング	3後	2			2	1				
	アドヴァンストスピーキング	3後	2			2	3				
	フランス語演習基礎(スピーキング)	1前	2			1				兼1	
	フランス語演習基礎(リーディング)	1前	2			1				兼1	
	フランス語演習基礎(リスニング)	1後	2			1				兼1	
	フランス語演習基礎(ライティング)	1後	2			1				兼1	
	専 門 基 礎 科 目	英語圏文学史A	2前	2			1	1			
		英語圏文学史B	2後	2			3				
		英語学概論A	2前	2			1	1			
		英語学概論B	2後	2			1	1			
		翻訳演習	2前	2			1				兼1
		翻訳研究	2後	2			2				
		コミュニケーション学入門	2前	2			1				
		クリティカルシンキング入門	2前	2			3				
		英語特別研究	2前	2			3				
		コミュニケーションフランス語基礎A	2前	2			2				
コミュニケーションフランス語基礎B	2前	2			2						
英仏対照言語学	2前	2			3						
世界文学概論	2前	2			3				1		
ヨーロッパ文化概論	2後	2			2				1		
専 門 展 開 科 目	英 語 研 究 科 目 群	英語圏文学A(ヨーロッパ)	2前	2		3	1	1			
		英語圏文学B(北アメリカ)	2前	2		3					
		英語圏文学C(アジア・オセアニア・アフリカ)	3前	2		2					兼1
		英語圏文化研究A(ヨーロッパ)	2後	2		3	1	1			
		英語圏文化研究B(北アメリカ)	2後	2		3					
		英語圏文化研究C(アジア・オセアニア・アフリカ)	3後	2		2					
		英語圏歴史研究	3後	2		3					
		言語文化論	3後	2		1	1				
		通訳研究I	2前	2							兼1
	通訳研究II	2後	2							兼1	
	英文法A	2前	2		2	1				兼1	
	英文法B	2後	2		2	1				兼1	
	英語音声学	2後	2							兼1	
	英語史	3前	2							兼1	
	英語学研究A	3前	2		1						
	英語学研究B	3後	2		1	1					
	異文化理解	3前	2		1						
	フ ラ ン ス 語 研 究 科 目 群	フランス語特別研究	2前	2			1				
フランス語文法		2前	2			1					
フランス語演習応用(スピーキング)		2後	2		1						
フランス語演習応用(リーディング)		2後	2		1						
フランス語演習応用(リスニング)		2後	2			1					
フランス語演習応用(ライティング)		2後	2		1						
フランス語史		2後	2		1						
フランス語音声学		3前	2				1				
コミュニケーションフランス語応用A		3前	4		1						
コミュニケーションフランス語応用B		3後	4		1						
フランス語圏文学研究A	3前	2		1							
フランス語圏文学研究B	3後	2		1							
フランス語学研究	3前	2			1						

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・担当者の追加により、「基礎演習」の専任教員等の配置を「教授12」から「教授15」に変更。
- ・担当割変更及び科目担当者の異格により、「導入演習」の専任教員等の配置を「教授18」から「教授12」、「准教授7」から「准教授2」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当割変更及び科目担当者の異格により、「外国語コミュニケーションA(英語)」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」、「准教授0」から「准教授4」、「兼任・兼任13」から「兼任・兼任9」に変更。
- ・担当割変更及び科目担当者の異格により、「外国語コミュニケーションB(英語)」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授7」、「准教授0」から「准教授2」、「兼任・兼任13」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・担当割変更により、「外国語コミュニケーションA(フランス語)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・担当割変更により、「外国語コミュニケーションB(フランス語)」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授4」、「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼任4」から「兼任・兼任9」に変更。
- ・担当割変更により、「英語スピーキングスキル」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」、「准教授0」から「准教授1」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・担当割変更及び科目担当者の異格により、「英語リーディングスキル」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授5」、「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・担当割変更により、「英語リスニングスキル」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」、「准教授1」から「准教授2」、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当割変更及び科目担当者の異格により、「英語ライティングスキル」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授4」、「准教授4」から「准教授1」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・担当割変更により、「ベーシックイングリッシュ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・科目担当者の異格により、「英語スピーキングスキル&プレゼンテーション」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授4」から「准教授3」に変更。
- ・科目担当者の異格により、「英語リスニングスキル&クリティカルシンキング」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授4」から「准教授3」に変更。
- ・科目担当者の異格により、「コミュニケーション英語I(統合基礎)」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授4」から「准教授3」に変更。
- ・科目担当者の異格により、「コミュニケーション英語II(統合応用)」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授4」から「准教授3」に変更。
- ・科目担当者の異格により、「アドヴァンストリーディング」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・科目担当者の異格により、「アドヴァンストライティング」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・科目担当者の異格により、「アドヴァンストスピーキング」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授4」から「准教授3」に変更。
- ・科目担当者の異格により、「演習I」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・科目担当者の異格により、「演習II」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・科目担当者の異格により、「Global IssuesB」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・科目担当者の異格により、「演習III」の専任教員等の配置を「教授19」から「教授20」、「准教授7」から「准教授6」に変更。
- ・科目担当者の異格により、「演習IV」の専任教員等の配置を「教授19」から「教授20」、「准教授7」から「准教授6」に変更。
- ・科目担当者の異格により、「卒業論文」の専任教員等の配置を「教授19」から「教授20」、「准教授7」から「准教授6」に変更。
- ・上記の変更により、専攻科目、専任教員等の配置の小計を「教授22」から「教授23」、「准教授7」から「准教授6」、「兼任・兼任25」から「兼任・兼任28」に変更。
- ・担当割変更により、「キリスト教人間学B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当割変更により、「日本史学A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・担当割変更により、「日本史学B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・担当者追加により、「東洋史学A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・担当者追加により、「東洋史学B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・担当割変更により、「西洋文学A」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・担当割変更により、「西洋文学B」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当割変更により、「経済学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当割変更により、「社会学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当割変更により、「社会学II」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者追加により、「同和問題論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・担当者追加により、「スポーツ理論I」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・担当者追加により、「スポーツ実習I」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・担当者追加により、「スポーツ実習II」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・担当者追加により、「スポーツ実習III」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・担当者追加により、「スポーツ実習IV」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・担当者追加により、「ドイツ語中級」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・担当者追加により、「韓国語中級」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・学則改正により、「ラテン語中級」を追加
- ・隔年開講科目のため、「日本語II」の「兼任・兼任」欄は空欄としている。詳細は2(3)-(6)に記載。
- ・担当者追加により、「イタリア語初級A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・担当者追加により、「イタリア語初級B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・学則改正により、「タイ語A」を追加
- ・学則改正により、「タイ語B」を追加
- ・上記の変更により、共通科目、科目数合計を「79科目」から「82科目」に変更。選択科目単位数の小計を「150」から「154」、専任教員等の配置を「教授4」から「教授2」、「兼任・兼任82」から「兼任・兼任96」に変更。
- ・上記の変更により、科目数の合計を「175」から「178」、選択科目単位数の合計を「344」から「348」、専任教員等の配置を「教授26」から「教授25」、「准教授7」から「准教授6」、「兼任・兼任15」から「兼任・兼任132」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(記当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
9	166	0	175	9	169	0	178	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
[]	[]	[]	[]	[]	[3]	[]	[3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	日本語II	2	1	一般	選択	希望者が少数のため隔年開講
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

番号1「日本語II」は、「日本語I～III」の中から履修できるため、特に支障はない。また、本科目は日本語を母語としない学生対象の科目であり、履修登録時には教務課より個別に案内をしている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{175} = \boxed{0.57}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	81,436.68㎡	0㎡	0㎡	81,436.68㎡				
	運動場用地	142,550.27㎡	0㎡	0㎡	142,550.27㎡				
	小 計	223,986.95㎡	0㎡	0㎡	223,986.95㎡				
	そ の 他	32,007.38㎡	0㎡	0㎡	32,007.38㎡				
	合 計	255,994.33㎡	0㎡	0㎡	255,994.33㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	訂正(錯誤)(2)			
		75,487.57㎡ 75,487.47㎡ (75,487.57㎡) (75,487.47㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	75,487.57㎡ 75,487.47㎡ (75,487.57㎡) (75,487.47㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 教室改修等による数値変更(2)			
	104室 105室	31室 37室	29室	9室 8室 (補助職員 8人)	12室 (補助職員 2人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		実績に基づく数値変更(2)			
	外国語学部 外国語学科			32 35 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能 なため、大学全体の数 開設時の予測値を、令 和2年5月1日現在の数 値へ修正したため(2) 【機械・器具】【標 本】実績とそれに基づ く想定点数変更等によ る数値変更(2)	
	外国語学部	1,219,912 [518,208] (1,162,959 [449,877]) (1,173,116 [478,132])	13,942 [4,691] (13,752 [4,669]) (13,783 [4,670])	21,130 [20,876] (18,691 [18,622]) (19,678 [18,941])	37,456 (35,302) (35,887)	2740 (2186) (2,256)	103 (77) (69)		
	計	1,219,912 [518,208] (1,162,959 [449,877]) (1,173,116 [478,132])	13,942 [4,691] (13,752 [4,669]) (13,783 [4,670])	21,130 [20,876] (18,691 [18,622]) (19,678 [18,941])	37,456 (35,302) (35,887)	2740 (2186) (2,256)	103 (77) (69)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数					
	11,715.21㎡	1179		180万冊					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	7,676.19㎡	テニスコート 9面		サッカー場 1面					
		アメリカンフットボール場 1面		ラグビー場 1面					
		陸上競技場 1面		アーチェリー場 1面					
		野球場 1面		ソフトボール場兼多目的運動場 1面					
		弓道場 1面							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学科(外国語学部 外国語学科)全体 ※図書購入費には電子 ジャーナル・データ ベースの整備費(運用 コスト)含む 図書購入費:計画見直 しによる変更のため (2) 【設備購入費】実績と それに基づく想定費用 変更等による数値変更 (2)
		教員1人当り研究費等	612千円	612千円	図書購入費	40,100千円 24,127千円	40,495千円 24,168千円	41,607千円 24,263千円	
		共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	107,050千円 110,178千円	36,525千円 12,703千円	11,781千円 9,923千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,160千円	960千円	960千円	960千円	-	-		
学生納付金以外の維持方法の概要		入学検定料、私立大学等経常費補助金、寄附金、資産運用収入、雑収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	西南学院大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
神学部 神学科	4	10	-	40	学士(神学)	1.00	1.10		昭和41	福岡県福岡市早良区西新六丁目2番92号	
文学部 英文学科	4	-	-	-	学士(英文学)	-	-		昭和29	同上	令和2年度学生募集停止
外国語学科	4	-	-	-	学士(英語学) 学士(フランス語)	-	-		昭和40	同上	令和2年度学生募集停止
外国語学部 外国語学科	4	300	-	1200	学士(外国語学)	0.92	0.92		令和2	同上	
商学部 商学科	4	180	-	720	学士(商学)	1.07	1.13		昭和29	同上	
経営学科	4	180	-	720	学士(経営学)	1.00	0.96		昭和41	同上	
経済学部 経済学科	4	240	-	960	学士(経済学)	1.02	0.96		昭和39	同上	
国際経済学科	4	120	-	480	学士(経済学)	1.01	0.97		平成17	同上	
法学部 法律学科	4	315	-	1260	学士(法学)	1.01	0.89		昭和42	同上	
国際関係法学科	4	95	-	380	学士(法学)	1.00	1.00		平成4	同上	
人間科学部 児童教育学科	4	100	-	400	学士(教育学)	0.92	0.90		平成17	同上	
社会福祉学科	4	115	-	455	学士(社会福祉)	0.98	0.93		平成17	同上	令和2年度入学定員変更 ・入学定員10人→15人 ・3年次転編入学定員10人→8人
心理学科	4	120	-	480	学士(心理学)	1.07	0.94		平成24	同上	
国際文化学部 国際文化学科	4	180	-	720	学士(国際文化)	1.03	1.00		平成18	同上	
大学院											
法学研究科法律学専攻											
博士前期課程	2	10	-	20	修士(法学)	0.65	0.30		昭和46	同上	
博士後期課程	3	3	-	9	博士(法学)	0.00	0.00		昭和49	同上	
経営学研究科経営学専攻											
博士前期課程	2	10	-	20	修士(経営学)	0.60	0.70		昭和47	同上	
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経営学)	0.33	0.33		昭和49	同上	
文学研究科英文学専攻											
博士前期課程	2	10	-	20	修士(文学)	0.25	0.40		昭和51	同上	
博士後期課程	3	3	-	9	博士(文学)	0.33	0.33		昭和55	同上	
文学研究科フランス文学専攻											
博士前期課程	2	5	-	10	修士(文学)	0.50	0.40		昭和51	同上	
博士後期課程	3	3	-	9	博士(文学)	0.22	0.33		昭和55	同上	
経済学研究科経済学専攻											
博士前期課程	2	7	-	14	修士(経済学)	0.57	0.14		昭和56	同上	
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経済学)	0.22	0.00		平成21	同上	
神学研究科神学専攻											
博士前期課程	2	7	-	14	修士(神学)	0.49	0.42		平成17	同上	
博士後期課程	3	2	-	6	博士(神学)	0.00	0.00		平成19	同上	
人間科学研究科人間科学専攻											
博士前期課程	2	10	-	20	修士(人間科学)	0.45	0.20		平成17	同上	
博士後期課程	3	3	-	9	博士(人間科学)	0.55	0.00		平成19	同上	
人間科学研究科臨床心理学専攻											
修士課程	2	8	-	16	修士(臨床心理学)	0.56	0.50		平成28	同上	
国際文化研究科国際文化専攻											
博士前期課程	2	10	-	20	修士(国際文化学)	0.55	0.20		平成18	同上	
博士後期課程	3	3	-	9	博士(国際文化学)	0.55	0.66		平成18	同上	
法務研究科法曹養成専攻											
専門職学位課程	3	-	-	-	法務博士(専門職)	-	-		平成16	同上	令和元年度学生募集停止
大学全体	-	2055	-	8038	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<外国語学部 外国語学科>

(1) 一① 担当教員表 (省略)

(1) 一② 担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

- 以下、外国語学部専任教員
- ・ [一谷教授] 担当変更のため、担当科目に「外国語コミュニケーションB(英語)」と「ベーシックイングリッシュ」を追加。
 - ・ [金子教授] 後期国内研究で不在のため、「基礎演習」「導入演習」を担当しない。
 - ・ [河原教授] 担当変更のため、「導入演習」「西洋文学B」を担当しない。
 - ・ [北垣教授] 担当変更のため、「外国語コミュニケーションB(フランス語)」を担当しない。
 - ・ [中西教授] 令和2年4月就任。「基礎演習」「外国語コミュニケーションB(英語)」「英語リーディングスキル」「英語リスニングスキル」を担当
 - ・ [藤野教授] 担当変更のため、「基礎演習」「導入演習」「西洋文学A」を担当しない。「西洋文学B」を追加。
 - ・ [藤本教授] 担当変更のため、「英語リスニングスキル」を追加。「ベーシックイングリッシュ」を担当しない。
 - ・ [三宅教授] 担当変更のため、「英語リーディングスキル」を追加。
 - ・ [宮本(林田)教授] 担当変更のため、「英語リーディングスキル」を追加。
 - ・ [和田教授] 担当変更のため、「西洋文学B」を担当しない。
 - ・ [清宮教授] 担当変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」と「英語リスニングスキル」を追加。
 - ・ [チェイス教授] 担当変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」と「英語リーディングスキル」を担当しない。
 - ・ [オルソン教授] 担当変更のため、「導入演習」と「外国語コミュニケーションA(英語)」「英語スピーキングスキル」「英語リスニングスキル」を担当しない。「基礎演習」「外国語コミュニケーションB(英語)」「英語ライティングスキル」を追加。
 - ・ [オスターハウス教授] 担当変更のため、「導入演習」を担当しない。「外国語コミュニケーションB(英語)」「英語ライティングスキル」を追加。
 - ・ [フ라운教授] 担当変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」を追加。「英語リーディングスキル」「英語リスニングスキル」「英語ライティングスキル」を担当しない
 - ・ [伊藤教授] 担当変更のため、「基礎演習」を追加。
 - ・ [加藤教授] 前期国内研究で不在であり、担当が変更になったため「導入演習」を担当しない。
 - ・ [宮原教授] 担当変更のため、「基礎演習」を追加。
 - ・ [ドーハティ教授] 教授に昇格。担当変更のため、「基礎演習」「外国語コミュニケーションA(英語)」「外国語コミュニケーションB(英語)」を追加。「導入演習」を担当しない
 - ・ [杉山准教授] 担当変更のため、「外国語コミュニケーションB(フランス語)」を担当しない。
 - ・ [樋口准教授] 担当変更のため、「導入演習」「英語リーディングスキル」を担当しない。「ベーシックイングリッシュ」を追加。
 - ・ [鳥越准教授] 産後休暇のため、「基礎演習」「導入演習」「英語ライティングスキル」を担当しない。
 - ・ [山元准教授] 担当変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」を追加。「英語リーディングスキル」を担当しない。
 - ・ [ホドソン准教授] 担当変更のため、「基礎演習」「外国語コミュニケーションA(英語)」「外国語コミュニケーションB(英語)」を追加。「導入演習」「英語ライティングスキル」を担当しない
 - ・ [前田(村岡)准教授] 担当変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」「英語リーディングスキル」「英語リスニングスキル」を追加。「英語ライティングスキル」を担当しない
 - ・ [カチャ准教授] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションA(英語)」「外国語コミュニケーションB(英語)」「英語スピーキングスキル」「英語リーディングスキル」「英語ライティングスキル」を担当
 - ・ [石田講師] 担当変更のため、「導入演習」を担当しない。「英語リスニングスキル」を追加。
- 以下、兼任教員
- ・ [フレスラー助教] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当。
 - ・ [ヒュー教授] 令和2年4月就任。「英語スピーキングスキル」を担当。
 - ・ [今井教授] 担当変更により「キリスト教学I」「キリスト教学II」を担当しない
 - ・ [津田教授] 辞任のため「キリスト教学I」「キリスト教学II」「ラテン語初級I」を担当しない。
 - ・ [宮平教授] 担当変更により、「キリスト教人間学B」を担当しない。
 - ・ [マンケ教授] 津田教授辞任に伴い、「キリスト教学I」「キリスト教学II」を追加。「キリスト教人間学B」を担当しない。就任日を「令和2年4月」に変更。
 - ・ [山田教授] 担当変更のため、「イタリア語初級A」を担当しない。
 - ・ [塩野(和)教授] 令和4年4月就任予定。「キリスト教人間学A」を担当。
 - ・ [森田教授] 辞任のため「哲学A」「哲学B」を担当しない。
 - ・ [藤田准教授] 准教授に昇格。
 - ・ [加藤准教授] 担当変更のため、「経済学」を担当しない。
 - ・ [安楽教授] 担当変更のため、「情報数学I」を担当しない。
 - ・ [塩野(正)教授] 担当変更のため、「物理学入門I」を担当しない。
 - ・ [山根教授] 教授に昇格。
 - ・ [山崎教授] 担当変更のため、「スポーツ実習I」「スポーツ実習II」「スポーツ実習IV」「スポーツ衛生学」を追加。
 - ・ [中馬教授] 担当変更のため、「スポーツ理論I」「スポーツ実習I」「スポーツ実習II」を追加。
 - ・ [田原准教授] 令和2年4月就任。「スポーツ実習I」「スポーツ実習II」を担当。
 - ・ [細木准教授] 令和2年4月就任。「スポーツ実習I」「スポーツ実習II」「スポーツ実習IV」を担当。
 - ・ [高野准教授] 担当変更のため、「スポーツ実習IV」を担当しない。
 - ・ [栗山助教] 令和2年4月就任。「中国語初級I」を担当。
 - ・ [単助教] 令和4年4月就任予定。「中国語上級」を担当。
 - ・ [新谷教授] 担当変更のため、「中国語初級II」を担当しない。
 - ・ [下園助教] 令和2年4月就任。「ラテン語初級I」を担当。
- 以下、兼任教員
- ・ [ウォレン講師] 担当変更のため、「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。「英語スピーキングスキル」を追加。
 - ・ [オキープ講師] 担当変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。
 - ・ [カーター講師] 担当変更のため、「英語スピーキングスキル」を追加。
 - ・ [ケイトン講師] 担当変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。
 - ・ [シェリフ講師] 担当変更のため、「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。
 - ・ [ファーネル講師] 担当変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。
 - ・ [フクハラ講師] 担当変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。
 - ・ [ベイトン講師] 担当変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。「英語スピーキングスキル」を追加。
 - ・ [ベヴァン講師] 担当変更のため、「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。
 - ・ [マキンス講師] 担当変更のため、「外国語コミュニケーションA(英語)」を担当しない。
 - ・ [マクドナルド講師] 担当変更のため、「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。
 - ・ [ムラカミ講師] 担当変更のため、「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。
 - ・ [ユエー講師] 担当変更のため、「外国語コミュニケーションB(英語)」を担当しない。
 - ・ [山本講師] 担当変更のため、「外国語コミュニケーションB(フランス語)」を追加。
 - ・ [辻部講師] 担当変更のため、「外国語コミュニケーションA(フランス語)」を追加。
 - ・ [日野講師] 担当変更のため、「外国語コミュニケーションA(フランス語)」を追加。
 - ・ [マクドナルド講師] 認可時に重複して記載があったため、ひとつに統合。本項目は使用しない。
 - ・ [濱講師] 担当変更のため、「西洋文学A」を追加。就任日を「令和2年4月」に変更。
 - ・ [クリスチャンズ講師] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションA(英語)」「英語スピーキングスキル」を担当。
 - ・ [ソーレス講師] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションA(英語)」「英語スピーキングスキル」を担当。
 - ・ [パークレー講師] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションB(英語)」「英語ライティングスキル」を担当。
 - ・ [アサー講師] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションB(英語)」「英語ライティングスキル」を担当。

- ・[安藤講師] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションA(フランス語)」「外国語コミュニケーションB(フランス語)」を担当。
- ・[村上講師] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションB(フランス語)」を担当。
- ・[麻生講師] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションB(フランス語)」を担当。
- ・[小柳講師] 令和2年4月就任。「外国語コミュニケーションB(フランス語)」を担当。
- ・[乙武講師] 担当変更のため、「情報活用基礎」を担当しない。
- ・[佐藤(亮)講師] 令和2年4月就任。「情報活用基礎」を担当。
- ・[平島講師] 担当変更のため、「イタリア語初級A」「イタリア語初級B」「ドイツ語中級」を追加。
- ・[梶原講師] 令和2年4月就任。「キリスト教学I」「キリスト教学II」を担当。
- ・[田代講師] 令和4年4月就任予定。「キリスト教人間学(B)」を担当。
- ・[伊原木講師] 担当変更のため、「キリスト教人間学A」を担当しない。
- ・[柴田講師] 令和2年4月就任。「哲学A」「哲学B」を担当。
- ・[伊東講師] 令和2年4月に就任しないため、「日本史学A」を担当しない。
- ・[八嶋講師] 令和2年4月就任。「日本史学A」を担当。
- ・[赤司講師] 令和2年4月就任。「日本史学A」「日本史学B」を担当。
- ・[川畑講師] 令和2年4月就任。「日本史学B」を担当。
- ・[松浦講師] 令和2年4月就任。「日本史学B」を担当。
- ・[遠山講師] 令和2年4月に就任しないため、「音楽史A」「音楽史B」を担当しない。
- ・[堀講師] 令和2年4月就任。「音楽史A」「音楽史B」を担当。
- ・[有吉講師] 辞任のため、「心理学I」を担当しない。
- ・[馬場講師] 令和2年4月就任。「心理学I」を担当。
- ・[堀口講師] 担当変更のため、「法学(日本国憲法2単位を含む。)」を担当しない。
- ・[城下講師] 担当変更のため、「法学(日本国憲法2単位を含む。)」を担当しない。
- ・[吉岡講師] 担当変更のため、「法学(日本国憲法2単位を含む。)」を担当しない。
- ・[高野講師] 担当変更のため、「社会学I」「社会学II」を担当しない。
- ・[森講師] 担当変更のため、「社会学I」「社会学II」を担当しない。
- ・[本田講師] 令和3年4月就任予定。「向和問題論」を担当。
- ・[城戸講師] 担当変更のため、「情報数学I」を追加。
- ・[小隈講師] 令和2年4月就任。「物理学入門I」を担当。
- ・[町田(真)講師] 令和2年4月に就任しないため、「自然科学概論I」「自然科学概論II」を担当しない。
- ・[三浦講師] 令和2年4月就任。「自然科学概論I」「自然科学概論II」を担当。
- ・[池松講師] 令和2年4月就任。「スポーツ実習I」「スポーツ実習II」「スポーツ実習III」を担当。
- ・[東講師] 令和2年4月就任。「スポーツ実習I」「スポーツ実習II」を担当。
- ・[原講師] 令和2年4月就任。「スポーツ実習II」を担当。
- ・[黒田講師] 令和2年4月就任。「スポーツ実習II」を担当。
- ・[町田(由)講師] 担当変更のため、「スポーツ実習III」を追加。
- ・[王(貞)講師] 令和2年4月に就任しないため、「中国語初級I」を担当しない。
- ・[陳講師] 担当変更のため、「東洋史学A」「東洋史学B」を追加。
- ・[王(晨)講師] 令和2年4月就任。「中国語初級II」を担当。
- ・[白岩講師] 担当変更のため、「韓国語初級II」を担当しない。
- ・[李(廷)講師] 担当変更のため、「韓国語初級I」を担当しない。
- ・[李(昭)講師] 令和2年4月就任。「韓国語初級I」を担当。
- ・[鄭(修)講師] 令和2年4月就任。「韓国語初級II」を担当。
- ・[金(恩)講師] 令和3年4月就任予定。「韓国語中級」を担当。
- ・[塚講師] 令和3年4月就任予定。「ラテン語中級」を担当。
- ・[福盛講師] 「日本語II」が未開講のため担当しない。
- ・[佐藤(友)講師] 令和2年4月就任。「イタリア語初級A」を担当。
- ・[井手講師] 令和2年4月就任。「イタリア語初級B」を担当。
- ・[富松講師] 令和2年4月就任。「タイ語A」「タイ語B」を担当。

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C教員審査)を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(A C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
15	8
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
22	7	1		30		24	7	1	0	32	0
(22)	(7)	(1)		(30)							
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
24	7	1	0	32	0	24	7	1	0	32	0
[2]	[0]	[0]	[0]	[2]	[0]	[2]	[0]	[0]	[0]	[2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
70	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{32}{30} = \boxed{106.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{32} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{0}{30} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認可時 (令和元年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<外国語学部 外国語学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

(1) 全学FD推進委員会(全学的組織)

【関係規程等】

[部長会議内各種委員会に関する内規] * 該当箇所抜粋

部長会議は、大学規程第50条第1項に定める部長会議の処理事項の円滑な処理をはかるため、次のような常設または臨時の委員会を置くことができる。

常設の委員会は、広報委員会、総合計画委員会、全学FD推進委員会、国際化推進委員会とする。

臨時の委員会は、学長または部長会議が必要と認めた場合設けるものとし、特定の施設に関する委員会及びその他の事項に関する委員会をいう。各委員会の目的、構成、委員長、任期、担当部署等については、次のとおりとする。

1. 常設の委員会

全学FD推進委員会

(イ) 目的

授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組（ファカルティ・ディベロップメント）（以下「FD」という。）を推進することを目的とする。

(ロ) 役割

a. FDの推進方策を検討し、決定した方策を部長会議に上程する。

b. 各学部に置くFD委員会から報告された特色あるFD活動について、全学に紹介し推進する。

(ハ) 構成

a. 教務部長

b. 学部長

c. 教務支援部事務部長

d. 教務課長

ただし、議長は必要に応じて関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。

- (ニ) 委員長は、教務部長とする。
- (ホ) 任期は、役職任期中とする。ただし、部長会議が構成員交代の必要を認めたときは、この限りでない。
- (ハ) 担当部署は、教務部教務課とする。

(2) 外国語学部FD委員会(学部ごとの組織)

外国語学部に係る審議は外国語学部教授会で行っている。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

(1) 全学FD推進委員会(全学的組織)

令和元年度は、4月16日、5月14日、6月18日、7月23日、10月8日、11月26日、1月14日、2月27日、3月10日の計9回開催した。令和2年度についても年度内に7~8回程度開催する予定である。

(2) 外国語学部FD委員会(学部ごとの組織)

外国語学部FD委員会は、外国語教授会終了後に開催することとしている。

令和2年4月はメール稟議により2回開催した。毎年度15回程度実施することとしている。

c 委員会の審議事項等

(1) 全学FD推進委員会(全学的組織)

全学FD推進委員会は、以下の事項について審議・検討する。

- ・FDの実施に係る企画・立案 (授業評価アンケートの実施、特色ある学部教育実施経費)

【令和2年度の主な審議事項】

- ・授業評価アンケートの実施と結果の活用について
- ・特色ある学部教育実施経費の活用について
- ・キャリアガイダンスについて
- ・教学マネジメント指針に関する事項(成績評価に関する事項等)について

(2) 外国語学部FD委員会(学部ごとの組織)

外国語学部FD委員会は、以下の事項について審議・検討する。

- 学部におけるFDに係る企画・立案及び実施
- 学部における学士課程教育の充実を図ることを目的とした方策の検討及び実施

審議事項* 外国語学部教授会にて審議

- 初年次教育についての検討
- 学部独自の留学プログラムについての検討

② 実施状況

(1) 全学FD推進委員会(全学的組織)

a 実施内容

- ・委員会の開催
- ・授業評価アンケートの実施(全学での取組み)
- ・授業公開・参観(全学での取組み)
- ・授業評価アンケート結果の活用検討

b 実施方法

- ・授業評価アンケート(全学での取組み)

全教員(非常勤講師含む)の全授業科目を対象(ただし、実験・実習・実技科目、演習科目、受講登録者数が10名以下の科目、集中講義は除く)として、毎年度、通年科目及び前期完結科目については7月、後期完結科目については、12月から1月にかけて実施している。外国語学部外国語学科においては、令和2年度から実施する。また、令和2年度より従来の紙に替えてWEB方式にて実施する。

・授業公開・参観（全学での取組み）

授業公開については、各教員の任意（アンケートによる事前意思確認を実施）での公開とし、年度を通じて該当教員の希望日等を考慮し、実施している。授業参観については、教員及び学生の任意参加とし、出席カード等により参加人数を把握している。

・授業評価アンケートの改善検討

全学FD推進委員会の下に設置する「授業評価検討委員会」（教務部長を委員長とし、各学部のFD委員（教員）及び学部長より推薦された学生代表で構成）にて授業評価アンケートの改善検討を行っている。

c 開催状況(教員の参加状況を含む)

・委員会開催

令和元年度は、4月16日、5月14日、6月18日、7月23日、10月8日、11月26日、1月14日、2月27日、3月10日の計9回開催した。（構成員は、ほぼ全員出席）

令和2年度は、年度内に7～8回程度開催する予定である。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・学生による授業評価アンケート（全学での取組み）

授業評価結果を各教員へフィードバックし、授業改善に取り組んでいる。さらに、授業評価結果に対する授業担当者のコメントを学生に対して公開しフィードバックできる仕組みを整えている。外国語学部外国語学科においても、令和2年度より同様の取組みを実施する。

・授業公開・参観（全学での取組み）

参観者の意見等を全学FD推進委員会にて共有し、今後の授業改善に向けた検討を行っている。

(2) 外国語学部FD委員会(学部ごとの組織)

a 実施内容

- 外国語学部教授会の開催
- 統一シラバスに基づく授業展開の確認と問題の共有
- 基礎演習の精査
- 東京外国語大学への視察

b 実施方法

○統一シラバスに基づく授業展開の確認と問題の共有

科目責任者を中心として、担当教員は、授業の問題点、工夫点について記録し、担当者全員にMoodleによる情報を共有する。これらの記録を参考として、教科書の利用の仕方、授業展開、評価の方針、運営方法についての確認をしながら改善に結び付ける。

○基礎演習の精査

担当教員は、基礎演習の授業毎に問題点、工夫点について記録し、担当者全員にMoodleによる情報を提供する。これらの記録を参考として、基礎演習の方針、運営方法について確認、検討を行い改善に結び付ける。

○東京外国語大学への視察

大学間包括連携協定を締結した東京外国語大学に、外国語学部執行部が視察を行い、外国語教育に関する問題点を共有し、解決策を検討する。

c 開催状況(教員の参加状況を含む)

○外国語学部教授会の開催

令和2年4月11日、4月25日の計2回開催

○統一シラバスに基づく授業展開の確認と問題の共有

上記実施方法の通り実施している。

○基礎演習の精査

上記実施方法の通り実施している。

○東京外国語大学への視察

令和2年度末に実施予定である。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

○統一シラバスに基づく授業展開の確認と問題の共有

学生からシラバスの内容と若干異なる内容を授業で扱っているとコメントが寄せられたため、科目責任者と学部長より統一シラバスの内容を全担当者で確認した。

○基礎演習の精査

担当者が学生のアカデミックアドバイザーを兼ねていることから、基礎演習において行うべき活動、方針について確認し、外国語学部の初年次教育のあり方について意識を共有した。

○東京外国語大学への視察

外国語教育に関する問題点を共有し、西南学院大学外国語学部のカリキュラム、学部独自の留学プログラム、国内留学制度、ダブルディグリー制度の修正および発展について検討する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・全教員（非常勤講師含む）の全授業科目を対象（ただし、実験・実習・実技科目、演習科目、受講登録者数が10名以下の科目、集中講義は除く）として、毎年度、通年科目及び前期完結科目については7月、後期完結科目については、12月から1月にかけて実施している。

b 教員や学生への公開状況, 方法等

- ・教員は、当該科目を受講する学生に対して授業評価結果に対するコメントを付して学内者向けポータルサイトにて公開することを原則としている。ただし、コメントの付記並びに公開の可否判断は、各教員に委ねている。
- ・各年度のアンケート実施報告を学内者向けのWEB上で公開している。
- ・アンケート実施にあたり、匿名性の厳守の観点から、学生の氏名等は無記名としている。

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

【設置の趣旨】

高等教育を取り巻く環境の変化や近年の進学希望者の動向などを踏まえるとともに、とりわけ昨今の地域事情を見据えて地域社会に根ざした大学としての特色をより明確にしたうえで、学部教育の一層の充実と発展に向けて既設の文学部の英文学科と外国語学科(英語専攻・フランス語専攻)を発展的に改組転換し、令和2年4月1日に外国語学部外国語学科を設置した。外国語学部外国語学科の教育研究上の目的は、外国語学分野に関する教育研究を通して、実践的な外国語運用能力習得のための理論と技能を教授し、高度な外国語運用能力を展開させて言語・文学・文化・社会に関する深い専門的知識を涵養し、豊かな人間力の形成に資することで地域及び国際社会への貢献を目指すことである。今年度の入学者確保及び教育上の特色の一つである初年次教育の状況について、以下の通り報告する。

【入学者確保の状況】

オープンキャンパスや高校訪問に加え、外国語学部特設のウェブサイトなどを通じた幅広い広報活動を展開した。入学定員300名に対して、2586名の一般入試及び特別入試志願者(推薦入試、留学生入試など)を集め、令和2年度の入学者は276名であった。

【初年次教育】

1年次は英語とフランス語の総合的運用能力を育成するとともに、学部の教育体系を理解し、主体的な専門的学びへの準備と卒業後の進路の方向性付けを行う。外国語コミュニケーション(英語)」と「外国語コミュニケーション(フランス語)」では、英語とフランス語の総合的運用能力の育成を図る。「基礎演習」では、担当教員がアカデミックアドバイザーの立場から、大学での主体的な学びを実現するため必要な心構えを形成する。「導入演習」では、本学部が提供する外国語学の学びを、文学・文化、言語学、グローバルコミュニケーションスタディーズを担当する教員が各領域の特色と研究内容を紹介し、2年次以降の各自の学問的興味を掻き立て、各自の履修モデル選択を方向付ける。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・令和3年3月末 公表(予定)

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定(令和3年3月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

・令和6年に評価機関(大学基準協会)の評価を受けるべく、学内で検討中

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [(有) ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。